

前後公町政3期目がスタート

6月23日執行の猪苗代町長選挙において3選を果たした
前後町長に、3期目の抱負を聞きました



前後 公 町長

【Profile】 ぜんご・ひろし
昭和16年猪苗代町生まれ。日本大学東北工業高校(現日本大学東北高校)卒。昭和36年町職員に。商工観光課長、国体準備室長、議会事務局長、公民館長、生涯学習課長などを歴任。平成23年の猪苗代町長選挙で初当選。6月23日の町長選挙で3選を果たした。翁島駅前在住、77歳。好きな言葉は「和」。

前後町長が目指す 5つの柱

① 町民総参加のひらかれた町政
「町政出前講座」などを開催し、ひらかれた、わかりやすい町政を目指します。また、女性や若者、子育て世代、Uターン・イターン移住者など、町民の声を幅広く聞き、多様性を尊重します。



② 健全な行財政基盤の確立
将来を見据え、組織や事業の無駄をなくしてスリム化・効率化を進めます。

活力と希望あふれる町づくり

私は、これまでの8年間、東日本大震災からの復興はもとより、産業の活性化や少子高齢化対策、防災対策などの重要課題に取り組んでまいりました。今後ますます激しく変化する社会状況を見据え、猪苗代町の発展と未来のために、今後の4年間は次の5つの柱を中心に、スピード感を持って公平・公正、決断と実行をもとに行政を執行してまいります。

まず初めに「町民総参加のひらかれた町政」を目指して参ります。

3期目の町政を担わせて頂くにあたり、新たな気持ちで、町民の皆様からご意見を賜りながら、分かりやすく「開かれた町政」を目指してまいります。

町民参加型の町政を推進するため、今後も「町政出前講座」や意見交流会などの直接対話を行い、幅広く「住民の声」を聞き、多様性を尊重してまいります。

また、男女共同参画社会の実現に向けて、あらゆる分野において女性の登用を推進し、女性

の声を町政に反映させてまいります。

次に「健全な行財政基盤の確立」を図ってまいります。

これまでの町政同様に、国、県の補助事業や交付金を最大限に活用し、効率的で有効な事業を行います。

3つ目に「安全・安心で住みよい暮らし」の実現を目指してまいります。町民の皆様の安全・安心を確保し、住みよい暮らしを守るため、各種ハザードマップの更新や防災無線システムの適正な管理・運用を進めるとともに、高齢者など要配慮者対策を図ることが重要です。また、原子力に依存しない再生可能エネルギーによる災害に強い町づくりを進めます。

福祉分野では、保健事業を充実させ、町民の皆様の健康づくりに取り組むとともに、子育て支援の充実を図ってまいります。さらには、地域医療や高齢者への支援、障がい者福祉など、福祉体制の充実を進めます。

4つ目の柱は「産業や人が集まり、活力あふれる町づくり」です。

農産物のブランド化を推進し、さらなる販路拡大に取り組みます。また、多機能型の「道の駅猪苗代」を拠点として、農商工と観光の連携による農産物・地域産品の6次産業化を推進します。観光振興では、10万人泊事業や合宿の郷づくり事業などに取り組む、交流人口の拡大を目指すとともに、大型イベントの誘致・定着化を図り、活力あふれる町づくりを目指します。

5つ目は「未来をひらく人づくり」です。学校教育の充実のため、令和4年開校予定の統合中学校整備事業を進めてまいります。また、子どもたちの学力・体力向上のため、県外から講師を招くなどにより教職員の指導力強化を図ってまいります。

また、生涯学習活動やスポーツ文化活動などへの支援、若者や女性の就職支援に取り組んでまいります。

③ 安全・安心で住みよい暮らし

治山・治水事業の他、火山や豪雪、大雨などの災害対策を図り、災害に強い町づくりを進めます。福祉分野においては、町民の皆様の健康づくりや高齢者福祉の充実、子育てしやすい環境づくりに取り組めます。



④ 産業や人が集まり、
活力あふれる町づくり

将来を見据えた農業対策や農産物のブランド化、観光振興と雇用の促進を図ります。東京五輪・パラリンピックでは、ガーナのホストタウンとして、本町を訪れる方々をおもてなしの心で歓迎します。

⑤ 未来をひらく人づくり

学校教育の充実、国際化社会に向けた人材育成に取り組めます。

